

# 広島県感染症発生動向週報

〔広島県感染症予防研究調査会〕

## 1. 五類定点疾患週報情報

令和8年第03週(令和8年1月12日～1月18日)【速報】

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1		No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	急性呼吸器感染症 (ARI)※2	4,399	47.30	—	→	11	突発性発しん	7	0.13	0.25	
2	インフルエンザ ※3	795	8.55	7.10	↘	12	ヘルパンギーナ	1	0.02	0.06	
3	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	100	1.08	—	↗	13	流行性耳下腺炎	0	0.00	0.02	
4	RSウイルス感染症	25	0.45	0.34	↗	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	
5	咽頭結膜熱	15	0.27	0.56	↘	15	流行性角結膜炎	9	0.47	0.53	
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	120	2.14	1.19	↗	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	感染性胃腸炎	280	5.00	7.04	→	17	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
8	水痘	11	0.20	0.09	↓	18	マイコプラズマ肺炎	16	0.80	0.29	↘
9	手足口病	1	0.02	0.29		19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	12	0.21	0.01	↘	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.02	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

発生記号(前週と比較)

	ARI定点 (内科)	ARI定点 (小児科)	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1～3	1～13	14,15	16～20
定点数	37	56	19	20

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↘	1 : 1.5 ～ 2 の増減
微増減	↗	↘	1 : 1.1 ～ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

●伝染性紅斑の定点当たり報告患者数が県内すべての保健所管内で 警報継続基準値(定点当たり1)を下回りました。  
流行は終息に向かっていると考えられるため、令和7年5月22日に発令した「伝染性紅斑警報」を令和8年1月22日に解除しました。

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況 (定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
伝染性紅斑	2	1	—	警報解除 (R7.5.22 発令分)	0.29	0.00	0.40	0.33	0.10	0.13	0.57
インフルエンザ	30	10	10	警報発令中 (R7.11.27 発令)	6.31	10.38	10.67	5.00	8.21	6.92	12.25

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

●急増疾患 なし  
●急減疾患 水痘 (30件 → 11件)

## 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10	4	2	1		2		1
三類	7	腸管出血性大腸菌感染症	7	1	1			5		
四類	1	レジオネラ症	1			1				
五類	12	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	1						1	
		梅毒	2					2		
		破傷風	1						1	
		麻しん	1					1		
		百日咳	6		1			3		2

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>